



け や き

学校教育目標

未来を拓き、心豊かにたくましく生きる力を育む

令和6年5月7日

児童数 333名

日本一心のこもったあいさつができる学校

校長 佐藤 健

風薫る5月に入りました。本校のシンボルである2本のけやきの木の緑がとても眩しく、日々葉が茂りそして色が濃くなる様子を見ていると、けやきの成長が、子どもたちの日々の成長と重なります。

子どもたちは、新学年となり新しい環境にも慣れ、落ち着いた学校生活を送れるようになりました。しかし、この大型連休により少しペースが乱れてしまうことは心配です。今月の25日(土)には全校による運動会を計画しております。子どもたちが目標をもって取り組めるためにも「基本的な生活習慣」をしっかりと築くことが大事です。特に、「睡眠を十分にとる」ことは大切です。睡眠で毎日の疲れをとり、翌日を充実した一日にするために、毎日決まった時刻に寝る、起きる、睡眠時間を十分にとるようにしてください。また、一日を頑張る活力を得るために、食事にも御家庭で気を配っていただけますようお願いいたします。4月、5月は子どもたちにとって精神的、肉体的に負担がかかる時期です。そこを「基本的な生活習慣」をしっかりと築くことによって乗り越え、本校のけやきの木のようぐんぐんと伸びていってほしいです。

さて、本校では、これまでの学校づくりにおいて「日本一心のこもったあいさつができる学校」が目指されてきました。私は、素晴らしい目標であると着任して感じました。この目標に長年取り組んでいる背景には、本校の地域の方が密接に関係していると実感しています。朝の登校指導で通学路の様々な場所に立って感じたことは、地域の方であいさつを交わしてくれる方が大変多いということです。朝は通勤途中の方が大変多いですが、そのあわただしく急いでいる中でもあいさつを交わしていただけます。学校に関係ない方でもそうです。また、本校のたくさんの防犯ボランティアの皆さんが、子どもたちにとっても温かなあいさつをかけていただいている様子をたくさん目にしました。このように、地域の皆さんがあいさつを交わすことを中心に、子どもたちを育む温かい雰囲気を作りがなされていることがとても素晴らしいと感じました。

子どもたちにおいては、家庭や学校でこれまでに培ってきたことがしっかりと身に付いて、素晴らしいあいさつができる子どもが多くいることをとても嬉しく思いました。また、高学年の児童が低学年の児童の手を引いて登校する様子や、困っている児童に温かく周囲の児童が手を差し伸べ、助けてあげる姿もたくさん見られました。あいさつを通して、子どもたちに温かい心が家庭、地域、そして学校で育まれているからでしょう。本当に素晴らしい本校の伝統です。

本年度も、この伝統を引き継ぎ、「日本一心のこもったあいさつができる学校」を更に目指して子どもたちを育んで参ります。